

# クオーツ 報時付掛時計 取扱説明書

お買い上げありがとうございます。

○ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

○この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

製造  
発売元 **リズム時計工業株式会社**

本社 ☎330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12  
<http://www.rhythm.co.jp>

## アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

### ●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路等）は製造打ち切り後、7年間で基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース・文字板等）の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

### ●修理可能期間について

無償保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有償での修理が可能です。ただし、修理内容や送料により、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

### ●転居または贈答品の場合

お買い上げ販売店でアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

### お問い合わせ先 ■お客様相談室 フリーダイヤル 0120-557-005

受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）  
お問い合わせの際は、製品番号（型番）「4MH880」をお伝えください。  
(Y1304)

## お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水をやわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。

●汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

●静電気により時計や掛けた壁面が汚れることがあります。定期的に汚れを落としてください。

## 電池・時計の廃棄

●お住まいの自治体の指定にしたがってください。

●時計を廃棄するときは電池を取り外してください。

## おもな製品仕様

使用温度範囲	−10～50℃ *結露しないこと
常温での時間精度	平均月差 ±20秒 温度が5～35℃のとき
使用電池	単1形マンガン乾電池 JIS規格 R20P 1.5V 2個 または単1形アルカリ乾電池 JIS規格 LR20 1.5V 2個
電池寿命	単1形マンガン乾電池：約10ヵ月 単1形アルカリ乾電池：約3年 音量中位で1日当たり17回報時したとき
報時機能	毎正時にメロディを奏で飾りが回転する
報時精度	毎正時に対して±1分以内
報時音	電子音
報時ON/OFF	スライドスイッチ
音量調節	ロータリー式ボリューム
暗所自動停止	明暗センサーにより暗所で停止
モニター機能	メロディを奏でひとことしゃべる
動き	飾りが一方向に回転

●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

### 付属品

単1形マンガン乾電池	2個	木ねじ	1個
保証書	1枚	取扱説明書	本書

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

## 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

### 図記号の説明

⊘は、禁止（してはいけないこと）を示しています。

ⓘは、指示する行為を必ずすることを示しています。

### ⚠ 警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

ⓘ 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない  
必ず守る 万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

⊘ 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る  
禁止

●電池をショートさせない。

●電池を充電しない。

●電池に傷をつけたり、分解したりしない。

●電池を加熱したり、火の中に入れてたりしない。

⊘ 電池から液漏れが起きてしまったときは、素手でさわらない

●電池から漏れた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●電池を取り外して、漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

### ⚠ 注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

⊘ 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない  
さびの発生や故障の原因になります。

⊘ 分解したり改造しない  
故障の原因になります。

ⓘ 落としたり、たたいたりして衝撃を与えない  
必ず守る 故障や破損の原因になります。

ⓘ 下記のような場所では使わないでください。  
必ず守る 品質や精度の低下、部材の変形、劣化、故障の原因になります。

●直射日光が当たる所。

●温度が+50℃以上の所。

●温度が−10℃以下の所。

●温風ヒーターなど乾燥した風が当たる所。

●ほこりが多く発生する所。

●強い磁気が発生する所。

●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。

●プールや温泉場など、ガスの発生する所。

●調理場など、多くの油を使用する所。

●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

## 電池のご注意（電池の正しい使いかた）

### 電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

●プラス（+）、マイナス（-）を間違えない。

●古い電池と新しい電池を混ぜない。

●種類の異なる電池を混ぜない。

●時計が動いていても定期的に交換する。

●長期間使用しないときは電池を取り外す。

●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。

●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。

●電池を新しくするときには、全部取り替える。

●幼児の手の届かない所に置く。

### 電池の寿命について

●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

### 電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

## 各部の名称と役割

●図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

(正面)

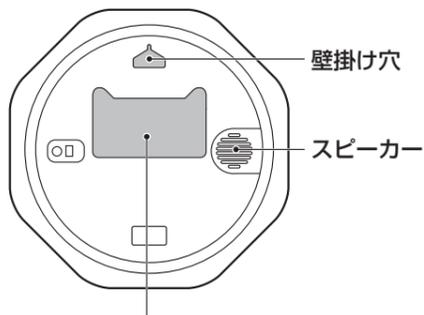
(裏面)



明暗センサー

時針 (短い針)

分針 (長い針)



壁掛け穴

スピーカー

### 裏カバーの取り扱い

取り外す 取り付ける  
引っ張る 押し込む



飾り

透明板に描かれた  
絵柄がメロディと共  
に回転します。

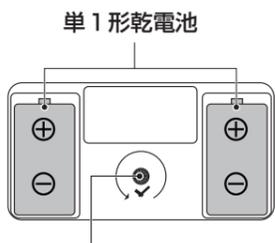
モニターボタン

モニターボタンを押す  
と約30秒間メロディを  
奏でひとことしゃべり  
ます。

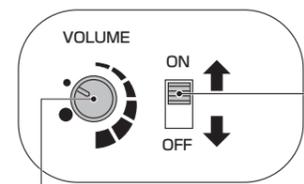
## 電池をセットする

電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて、電池を2個入れてください。

**△注意** 電池の⊕⊖を逆向きに入れると電池の液漏れや発熱、破裂の原因になります。また、種類の異なる電池を混ぜないでください。



単1形乾電池  
針合わせつまみ  
矢印方向に回して時刻を合わせてください。



### 報時スイッチ

**ON** : 毎正時に「ウィーアー!」のメロディが流れ、ひとことしゃべります。おしゃべりは7種類収録されており、毎正時に切り替わります。

**OFF** : 報時しません。

※報時スイッチをONに設定しても、明暗センサーにより暗くなると自動的に報時をしなくなります。

**明暗センサーのはたらき** 参照。

### ボリューム

☺ : 大きくなる  
☹ : 小さくなる

モニターボタンを押すとメロディが流れますので、その間にボリュームつまみを回して調節してください。

## 明暗センサーのはたらき……報時暗所自動停止機能

明暗センサーが暗いと判別した場合は報時を停止させます。昼間や夜間の照明時でも、明るさが不足するとセンサーが働きます。

## このようなときには、電池の交換が必要です

- モニターボタンを押すとメロディが鳴るのに針が動かない。
- 針が動いているのにメロディが鳴らない。
- 時間が合わない。
- 電池の交換時期が近づいた  
時計が動いていても定期的に交換してください。  
単1形マンガン乾電池は10ヵ月ごとに、単1形アルカリ乾電池は3年に1回交換してください。

**△注意** 電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。



## 時計の使いかた

### 1 ボリュームを左に回して音量を最小にする

操作をしているときに大きな音で鳴らないようにします。

### 2 裏カバーを引っ張って取り外す

### 3 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を2個入れる

電池は単1形マンガン乾電池2個または単1形アルカリ乾電池2個をご使用ください。

### 4 針合わせつまみを回して、針を正しい時刻に合わせる

### 5 裏カバーを押し込んで取り付ける

### 6 報時機能を設定する

報時スイッチをONにすると、毎正時に約30秒間メロディを奏でます。モニターボタンを押すと試聴することができますので、ボリュームを回して音量を調節してください。

### 7 時計を掛ける

**△注意** 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、掛け具(木ねじ)に壁掛け部がしっかり掛かっていることを確認してください。

○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。

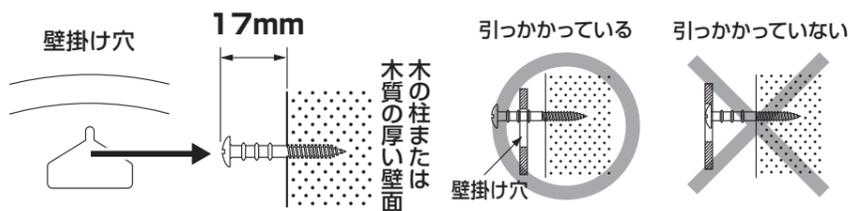
○壁掛け部以外に掛けないでください。

○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。

○ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

## 木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

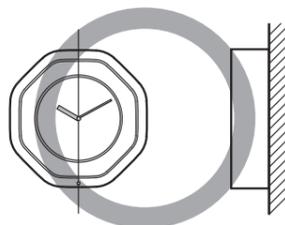


## その他の壁面の場合

- 石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

■垂直に掛けないと飾りが滑らかに回転しないことがあります。

良い例



悪い例

